

小規模事業者持続化補助金を活用して (さぬき市商工会)

「あなただけのお気に入りの逸品を・・・」

会社説明

当社は、昭和54年に縫製品の産地であったさぬき市で創業者が内職としてカメラのレンズケースを製作したのが始まりで、手袋や帽子などを作っていました。が、「バッグを作りたい」との声が多数寄せられるようになり、昭和59年に鞆製作専門の砂川ソーイングを創業しました。

以来約40年にわたり「お客様を輝かせ、心を豊かにし、喜んでもらえるお気に入りの逸品を届けていく」を経営方針として、鞆製作一筋に歩んでいます。

事業課題

創業以来、下請けの縫製仕事を続けてきましたが、より経営の安定を図るため、OEMの受注をさらに増やすとともに、昨今の原材料費の高騰やお客様からの要望に対応できるよう、また元請け企業の業況に左右されないよう、新たな収益の柱を生み出す事業展開として、自社オリジナル商品やオーダーメイド商品の製作に注力していく必要があると考え、さぬき市商工会に相談しました。

小規模事業者持続化補助金の活用

相談の結果、自動で定寸縫いや四角縫いが可能な「1本針本縫上下送り自動糸切りミシン」を新たに3台導入し、生産



能力の向上を図ることにしました。新しいミシンは、革が厚くて大きいボストンバッグのような物から小物まで縫えるようになるだけでなく、縫製作業の未経験者でも扱おうことができ、より効率的に生産量を増やすことができるようになります。

今後の展望

令和3年には工場併設のショールームを整備して店頭販売を拡充するとともに、ふるさと納税返礼品の出品にも取り組んでおり、今後は、自社直販でお客様からのオーダーに応じたオリジナル商品の製作にも力を入れていきたいと考えています。

今後も、常に変化していくお客様のニーズを把握し、お客様が望んでいることを商品製作に反映できるよう、改善・改良しながら、より良い鞆作りを行い、当社が製作した鞆を通してお客様に感動を与え、当社の鞆を選んでいただけるように努めてまいります。



さぬき市商工会
経営指導員 森川 博喜

事業主は、創造力が豊かで、自社オリジナル商品の製作に意欲的な方です。一つひとつ丁寧に作り上げた商品の魅力を今後いかに多くの方へ発信し、展開していくかが重要であると考えています。今回の補助金支援だけではなく、時代の変化に合わせたPR方法なども、引き続き一緒に検討させていただきます。「さぬきの鞆屋II砂川ソーイング」になれるように支援していきます。

店舗情報

砂川ソーイング

住所 さぬき市志度910-6
営業時間 8:30～17:30
定休日 土曜日、日曜日(事前連絡があれば対応可能です)
電話 087-894-5470
Instagram <https://www.instagram.com/sunagawasewing/>

